

中学校における「考え，議論する」 道徳科授業の在り方に関する研究

—道徳的価値について多面的・多角的に学ぶ問題解決的な学習を取り入れた授業づくりを通して—

《補助資料目次》

I	実践内容と基本となる学習指導過程	1
II	授業1について	3
III	授業2について	9
IV	授業3について	15
V	授業4について	21
VI	授業5について	27
VII	事前アンケート	37
VIII	事後アンケート	38

平成 29 年 3 月
岩手県立総合教育センター
長期研修生
所属校 滝沢市立滝沢第二中学校
恩 田 弥 生

I 授業と基本となる学習指導過程

授業内容、基本となる学習指導過程と発問例を一覧として【表1】【表2】に示す。

【表1】授業内容の一覧

授業 1	主題名 思いやる相手について考える [思いやり, 感謝]
	教材名 だれを先に乗せる? (出典 NHK for school 「ココロ部!」) 【教材の概要】 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 車で会社に向かう途中、故障したバスと5人の乗客を発見するコジマくん。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 5人の乗客うち3人を、自分の車に乗せることを提案するコジマくん。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 5人の乗客から急いでいる理由を聞くコジマくん。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 5人全員に「車に乗りたい」とお願いされ、だれを先に乗せればいいのか悩むコジマくん。 </div> </div>
授業 2	主題名 正しいことを正しいと言うには [自主, 自律, 自由と責任]
	教材名 裏庭のできごと (出典 学研「かけがえのないきみだから 1年」) 【教材の概要】 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 遊んではいけないと分かっているが、裏庭で雄一、大輔とサッカーをはじめしてしまう健二。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 雄一が鳥のヒナを救うためガラスを割ってしまった後も遊びを続け、もう一枚ガラスを割ってしまう健二。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 大輔の口車に乗せられて、二枚とも雄一が割ったことにしてしまう健二。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 雄一に卑怯と言われ、大輔に口止めされ、どうしたらよいか悩む健二。 </div> </div>
授業 3	主題名 命あるものとの向き合い方について考える [生命の尊さ]
	教材名 サルも人も愛した写真家 (出典 NHK道徳ドキュメント1 キミならどうする?) 【教材の概要】 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> ニホンザルに魅了され、移住してまで写真を撮り続けてきた動物写真家松岡史郎さん。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 天然記念物として守られ数を増やしたサルに、畑を荒らされ生活を脅かされた住民はサルの駆除を決める。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 駆除するサルを見分けてもらいたいと住民に頼まれ、悩む松岡さん。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> サルのために、住民のために苦渋の決断をし、駆除に協力する松岡さん。 </div> </div>
授業 4	主題名 自分をコントロールするには [節度, 節制]
	教材名 釣りざおの思い出 (出典 学研「かけがえのないきみだから 1年」) 【教材の概要】 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> ずっと憧れていた釣りざおを買ってもらい、釣りに出かける「わたし」。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 釣りに夢中になってしまい、約束の時間が過ぎてても釣りを続けてしまう「わたし」。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 釣りざおを折りながら、涙を流す母を見つめる「わたし」。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 苦い思い出として今でも時計を見る「わたし」。 </div> </div>
授業 5	主題名 人が暮らすためには何が必要なんだろう [郷土を愛する態度]
	教材名 わたしの宝物 (自作資料) 【教材の概要】 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 都会に憧れ、ふるさと野田村から出て行きたいと考える理奈さん。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 東京で就職したが、東日本大震災津波で実家が被災したことを機に帰郷を決意する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> 野田村のために働くことで、ふるさと野田村の魅力に気づく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> NPO法人を立ち上げ、野田村の人たちの「誇りの再生」をめざし活動する理奈さん。 </div> </div>

【表2】多面的・多角的に学ぶ問題解決的な学習を取り入れた授業における基本となる学習指導過程と発問例

導 入	○教材や日常生活から道徳的価値に根差した問題を見つけ、学習テーマを共有する。 主題に対する生徒の興味や関心を高め、学習への意欲を喚起して、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚に向けて動機付けを図る。		
	【学習例と発問例①】 本時の主題に関わる問題意識をもつ。 ・～はどんなことが問題なのか。	【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。 ・～という話題について考えてみよう。	【学習例と発問例③】 生活経験を振り返る。 ・～したことがあるか。
	主題における道徳的な問題を課題化する	教材における道徳的な問題を課題化する	生活経験における道徳的な問題を課題化する
展 開	○問題場面における主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。（他者と議論する） ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる。		
	【学習例と発問例④】 問題場面における主人公について考える。 ・主人公の行動や考え方について感じたことは何か。	【学習例と発問例⑤】 問題場面における主人公がとった行動の理由を考える。 ・主人公がそのように行動したのはなぜか。	【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。 ・そのような主人公をどう思うか。
	共感的な発問 主人公の行動や考え方を類推し自分の考え方と重ねることで、自分自身の行動の源となる心情が明確になる。	分析的な発問 主人公を客観的にとらえ、行動の理由を類推することで、自分自身の価値観やこれまでの経験が明確になる。	批判的な発問 主人公の行動について、自分自身と照らし合わせて考えることで、自分の感じ方や考え方が明確になる。
	主として多面的な思考		主として多角的な思考
	○「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考える。（他者と議論する） 道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深める。		
	【学習例と発問例⑦】 問題解決に向かう主人公について考える。 ・主人公は、今どんなことを考えているか。	【学習例と発問例⑧】 問題を自分との関係で捉え、その解決に向けて考える。 ・～のとき、自分ならどうするか。	【学習例と発問例⑨】 問題を自分との関係で捉え、自分の将来に生かす。 ・主人公の行動から、自分はどうしなければならぬと思うか。
	共感的な発問 問題解決に向かう主人公に自分を重ねて考えることで、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深める。	投影的な発問 主人公に自分を重ね、解決に向けて考えることで、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深める。	発展的な発問 問題に対する自分の感じ方や考え方を明らかにすることで、人間としての生き方や在り方について考えを深める。
主として多面的な思考		主として多角的な思考	
終 末	○最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 道徳的価値を実現することのよさや難しさなどをまとめ、今後の発展につなげる。		
	【学習例と発問例⑩】 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。 ・～はなぜ大切なのか。 ・本当の～とは何だろうか。	【学習例と発問例⑪】 これからの課題や目標について考える。 ・自分は～についてどう思うか。 ・これから～についてどうしていきたいか。	

II 授業1について

1 指導案

道徳学習指導案

- 1 主題名 思いやる相手について考える [思いやり, 感謝]
教材名 だれを先に乗せる? (出典 NHK for school「ココロ部!」)
- 2 ねらい だれを先に乗せるべきか悩んでいる主人公の行動を追体験することを通して、思いやる相手について、年齢や性別や事情など多方面から相手を推し量ろうとする判断力を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校高学年の内容項目[思いやり, 感謝]では、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」を目標としている。中学校では「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること」とある。小学校における指導内容を更に発展させ、中学校では単に思いやりや感謝が大切であることだけでなく、相手の立場や気持ちに対する配慮についても理解を深めていくことが大切である。

本主題は「思いやる相手について、年齢や性別や事情など多方面から相手を推し量ろうとする判断力を育てる。」ことをねらいとしている。思いやりの心は、自分が他に能動的に接するときに必要な心のあり方であり、他の人の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ますという生き方に現れる。さらに、思いやりには、思いやる対象や、相手が存在する。その人が現在どういう状況にあるか、何をしてほしいと望み、何をしてほしくないと思っているかなど、思いやりは相手の心や状況を推し量り、想像する心である。

(2) 生徒について

中学校生活も半年を経過し、中学生としての自覚が育ってきている。相手を思いやり、仲間と協力しながら、部活動や生徒会活動に積極的に取り組んできた。しかし、思いやりのある行動は大切だとわかっているにもかかわらず、相手の立場や状況を推し量らずに、自分本位な行動をしてしまうことも見受けられる。思いやる相手の立場に立って考えることで、相手の心を推し量り、総合的に判断する力を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、NHK for school「ココロ部!」による映像教材である。この番組は、考える力やコミュニケーション力を楽しみながら身につけることを目的として制作されている。

主人公のコジマくんは出勤途中のサラリーマンである。ある日の朝、コジマくんは車で会社に向かうため、山道を急いでいた。その道中、故障したバスと乗客達を発見する。緊急事態のようで、次のバスやタクシーが来るまで1時間以上はかかるという。乗客5人はみんな急いでおり、とても困っている。コジマくんは自分の車で乗客達を乗せていくことを提案するが、3人しか乗せられることができない。乗客5人全員が「車に乗りたい」とコジマくんをお願いする状況の中、だれを先に乗せればいいのか悩むという内容である。

(4) 指導にあたって

生徒の実態と教材の特質から、道徳的価値について人間としてよりよく生きる上で大切なものは何かを考える授業とし、学習テーマを「思いやる相手について考える。」と設定する。教材を通して、外見や都合にとらわれることなく、相手の様子や状況をよく考えることの大切さを捉えさせたい。そこで、だれを先に乗せたらいいのか悩んでいる主人公の行動を追体験させ、相手の様子や状況を多方面から推し量ることこそが、相手を思いやることであることに気付かせたい。さらに、だれを先に優先して乗せるかについて考え、話し合いを行う。この活動を通して、思いやりのある行動をとるためには、相手のことを十分考える必要があることを実感させたい。

4 研究との関わり

(1) 主体的に道徳性を育むための指導の工夫

ア 課題意識・見通し

導入では、中学校で起きた事例を紹介し、思いやりのある行動には、必ず相手が存在することや、相手が目の前にいなくても、状況を押し量ることができることを紹介し、本時の学習テーマを「思いやる相手について考える。」と設定する場面を設ける。

展開前段では、「コジマくんは、どんな理由で3人を選んだか。」という発問をし、生徒が相手の様子や状況を多方面から押し量ることで、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。

イ 学習活動・振り返り

主体的に道徳的価値について考えさせるために、展開後段では、「困っている5人のうち、あなただったら、どの3人を優先するか。」と発問し、理由を考えさせることで、生徒がどんな観点で「思いやる相手」について考えているのか明らかにする場面を設ける。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める工夫を行う。話し合うことで自分にはなかった考え方に気付かせたい。話し合いの後段では「自分ならどの3人を優先するか。」について考えをまとめる。

そして終末では、分割提示した教材の後半を視聴し、多くを語らなかった「こわそうな男性」の急ぐ理由を聞くことで、「思いやる相手」について、さらに考えを深めさせる。そして、導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「相手を思いやる時何を大切にすべきか。」について最終的な自分の判断をまとめ、これからの課題や目標を見つけることにつなげる。

(2) 問題解決的な学習を取り入れた授業における基本となる学習指導過程

導 入	○教材や日常生活から道徳的な問題を見つけ、学習テーマを共有する。 条件4	
	【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。	【発問】 「こんな場面に遭遇したら、あなたはどうしますか。」
展 開	○問題場面における主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。 条件3, 6	
	【学習例と発問例⑤】 問題場面における主人公がとった行動の理由を考える。	【発問】 「コジマくんはどんな理由から、この3人を選んだのでしょうか。」
	○「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考える。 (他者と議論する) 条件5, 6	
	【学習例と発問例⑧】 問題を自分との関係で捉え、その解決に向けて考える。	【発問】 「もし、あなたがコジマくんと同じ立場だったら、どの3人を先に車に乗せますか。」
終 末	○最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 条件7	
	【学習例と発問例⑩】 これからの課題や目標について考える。	【発問】 「相手を思いやるときに、どんなことを大切にしていこうと思いますか。」

2 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点	
導入	<p>1 自分の生活を振り返り、問題意識をもつ。</p> <p>(1) 通学路に落ちていた白衣を拾って届けてくれた3年生の気持ちについて考える。</p> <p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p>	<p>・1年生が困るだろうなと思ったから。</p> <p>・1年生のために役に立ちたいと考えたから。</p>	<p>【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習テーマを共有する。 実際に中学校で起きた事例を紹介し、思いやりのある行動には、必ず相手が存在することや、相手が目の前にいなくても、状況を推し量ることができることを紹介し、本時の学習テーマを「思いやる相手について考える。」と設定する。</p> </div> <p>「誰が、どのように思いやる相手について考えているか。」に注目することを生徒に伝えてから、教材を視聴する。</p>	
	<p>3 教材を視聴し、あらすじを確認する。</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習テーマ 「思いやる相手」について考える。</p> </div>
	<p>4 主人公の気持ちや行動について考える。</p> <p>(1) コジマ君はどんな理由からこの3人を選んだのでしょうか。</p> <p>(2) コジマ君は、何を基準にして5人を分けたのでしょうか。</p> <p>(3) 仲間分けをする基準は何か。他にないか。</p>			<p>・笑顔のすてきな女性は、女の人は優先したほうがいいと思ったから。</p> <p>・やさしそうなおばあさんは、お年寄りは大切だから。</p> <p>・お世話になった佐藤さんは、昔からの知り合いだから。</p> <p>・見た目で分けた。</p> <p>・性別や年齢で分けた。</p> <p>・知り合いかどうかで分けた。</p> <p>・用事を聞く。</p> <p>・どこに行くのか。</p> <p>・いつまでに行くのか。</p>
<p>5 教材を視聴し、自分との関係で、問題について考える。</p> <p>(1) もし、あなたがコジマ君と同じ立場だったら、どの3人を先に車にのせませうか。</p> <p><内容と理由を話し合う。></p>	<p>①笑顔のすてきな女性 乗せる：就職試験は大切。 乗せない：交通機関のトラブルだから許してもらえない。</p> <p>②やさしそうなおばあさん 乗せる：お年寄りを優先すべき。 乗せない：試合するくらい元気。</p> <p>③お世話になった佐藤さん 乗せる：恩返しをすべき。 乗せない：急ぐ用事ではなさそう。</p> <p>④体格のいい男性 乗せる：体に関わることは優先。 乗せない：体格が良いから大丈夫。</p> <p>⑤こわそうな男性 乗せる：人に会わせてあげたい。 乗せない：よくわからない人を乗せたくない。</p>	<p>【学習例と発問例⑧】 問題を自分との関係で捉え、その解決に向けて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考え、他者と議論する。 「困っている5人のうち、どの3人を優先するか。その理由は何か。」をペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させる場面を設ける。また話し合うことで自分にはなかった考えに気付かせる。</p> </div>		

	<p>(2) 意見が変わってもいいです。もし、あなたがコジマ君と同じ立場だったら、どの3人を先に車に乗せますか。</p> <p><話し合った後、自分の考えをまとめる。></p> <p>6 道徳的価値について、さらに考える。</p> <p>(1) 先に乗せる3人を決める上で、何か困ったことはありませんでしたか。</p> <p>7 教材を視聴し、内容を確認する。</p> <p>(1) こわそうな男性の理由を聞いてどう思いましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を聞いて、お世話になった佐藤さんに乗せることに変えました。 ・自分の意見は変わりません。 ・こわそうな男性は誰に会うのか知りたい。 ・いい人だったのか。 ・こわそうな男性も乗せたくなくなってしまった。 	<p>話し合いの後、「自分ならどの3人を優先するか。」と発問し、現時点での考えをまとめる。</p> <p>多くを語らなかった「こわそうな男性」の急ぐ理由を聞くことで、思いやりについて、考えをさらに深める。</p>
<p>終末</p>	<p>8 本時の学習や自己を振り返る。</p> <p>(1) 相手を思いやるときに、どんなことを大切にしていこうと思いますか。</p> <p>9 教師の説話を聞く。</p> <p>みなさんは思いやる相手について、少ない情報から、いろんなことを想像し、どうしたらいいか考えました。このこと自体が思いやりですね。今日は思いやりであふれた1時間でした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人のために考えた行動をとりたいと思いました。自分以外の人たちが困っていたら、助けてあげたいです。助けるときには、しっかりと相手の事情を聞いてから判断したほうがいいと思いました。見た目だけで決めつけず中身を知って決めなければならぬと考えました。 	<p>【学習例と発問例⑩】 これからの課題や目標について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。</p> <p>導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「相手を思いやる時何を大切にすべきか。」について最終的な自分の判断をまとめ、これからの課題や目標を見付けることにつなげる。</p> </div>

3 板書計画

思いやる相手について考える

困るだろうな...役に立ちたい。

「だれを先に乗せる」

山道でバスが故障 車に乗れるのは3人だけ

コジマくん

もし、あなたがコジマ君と同じ立場だったら、どの3人を先に車に乗せますか?

⑩ 相手を思いやる時、どんなことを大切にしていこうと思いますか?

- ・相手の立場を考える。
- ・相手の事情を(っか)聞く。
- ・見た目だけで判断しない。

コジマ君が分けた基準

- ・見た目 (年齢、性別)
- ・自分の関係

他に考えられる基準

- ・どんな用事があるのか
- ・どこに行くのか
- ・だれに会うのか

4 ワークシート

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

思いやる相手について考える 「だれを先に乗せる？」

1 あなたがコジマくんだったら、どの3人を車に乗せますか。

	急ぐ理由	乗せる人 ○をしよう	あなたが選ぶ理由
笑顔のステキな女性			
やさしそうなおばあさん			
お世話になった佐藤さん			
体格のいい男性			
こわそうな男性			

2 どの3人を選んだか、理由についてグループで話し合おう。

()さんの意見	()さんの意見
メモ(自分の意見と同じこと、違うこと)	メモ(自分の意見と同じこと、違うこと)
↓	
考えが(変わった ・ 変わらない)	
理由	

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

.....

.....

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にはない考えに気付くことがあった。				
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。				
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。				
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。				
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。				
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。				

5 生徒のワークシート記述例

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

思いやる相手について考える

「だれを先に乗せる？」

1 あなたがコジマくんだったら、どの3人を車に乗せますか。

	急ぐ理由	乗せる人 ○をしよう	あなたが選ぶ理由
笑顔のステキな女性 1	就職試験がある	○	これからの人生を左右させるものだから。
やさしそうなおばあさん 2	バスケットボールの試合	○	ごめんねだから 具合が悪くしたら大変。
お世話になった佐藤さん 3	妻へ買う物がある		
体格のいい男性 4	病院へ行く	○	重い病気をしたら大変だし、 待っている間に具合悪くしたらヤバい。
こわそうな男性 5	人に会う		

2 どの3人を選んだか、理由についてグループで話し合おう。

()さんの意見	()さんの意見
メモ(自分の意見と同じこと、違うこと) ○1・2・4で全く同じ。 理由も一緒。	メモ(自分の意見と同じこと、違うこと) ○1・2・3の人。 違うのは佐藤さんで、「いい人だから。」
考えが(変わった・変わらない)	
理由 おばあさんは人望が厚いからほんまにいいわ。→こわそうな男性はお見舞い 行くと考えていくけど、危ないか急病したら大変。(2→5へ)	

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

もし、自分があんな場面になったら、どうすればいいのかなどとても悩んだ。
相手を思いやる姿、その人の立場で考えて、いいきしてはいいかと思った。
相手を思いやる時、ちゃんと相手の立場から考えられるようにしたいと思
った。

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達のことを聞いて、自分にない考えに気付くことがあった。	○			
2	友達のことを聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。	○			
3	友達のことを聞いて、自分の考えが変わったことがあった。	○			
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。	○			
5	今までの自分がどうだったかを思い出して、自分について考えた。	○			
6	これからどのように生活していけばいいかを考えた。	○			

Ⅲ 授業2について

1 指導案

道徳学習指導案

- 1 主題名 正しいことを正しいと言うには [自主, 自律, 自由と責任]
教材名 裏庭のできごと (出典 学研 「かけがえのないきみだから 1年」)
- 2 ねらい 正義と友情のはざままで悩み葛藤する健二の姿を通して、自ら判断し、誠実に実行しようとする心情を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校高学年の内容項目[正直, 誠実]では、「誠実に、明るい心で生活すること」を目標としている。中学校では「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと」とある。小学校における指導内容を更に発展させ、中学校では、自己の気高さに気付かせ、何が正しく、何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動をとれるようにすることが大切である。

本主題は「正義と友情のはざままで悩み葛藤する健二の姿を通して、自ら判断し、誠実に実行しようとする心情を育てる。」ことをねらいとしている。授業では、良心の大切さに気付かせたい。良心に基づく良い行為とは、自分にとっても他者にとっても、良い行為である。この意味で、善悪判断の基準となる多面的なものの見方や考え方を身に付けることの重要性を理解させることが大切である。

(2) 生徒について

新しい仲間と共に中学校生活をスタートさせ、半年が経過した。学級活動や部活動などの場面において、仲間と協力しながら積極的に取り組んでいる。しかし、仲良くしたいあまり、周囲を気にしたり、仲間の言動に左右されたりして誠実な行動をとれない生徒も見られる。また、よりよく生きたいと思いつつも、自分で適切な判断ができず安易な方向に流されてしまいがちな生徒もいる。そこで本教材を通して、自ら考え、判断し、誠実に行動することの難しさと大切さを考えさせたい。

(3) 教材について

本教材は、学研「かけがえのないきみだから 1年」に収録されている読み物教材である。主人公の健二は、雄一、大輔の三人で遊んではいけないと分かっているながらも、学校の裏庭でサッカーをはじめてしまう。しばらくたってから、鳥のヒナを襲おうとする猫が三人の目に入る。ヒナを助けようとした雄一が蹴ったボールで、学校の窓ガラスが割れてしまう。すぐに雄一は、先生に報告に行く。残った二人はまたサッカーを続け、もう一枚ガラスを割ってしまう。大輔は先生に上手く言い訳をし、二枚とも雄一が割ったことにしてしまう。健二は大輔の言い訳の口車にのって、先生に事実を言えずにいるという内容である。

(4) 指導にあたって

生徒の実態と教材の特質から、道徳的価値の実現は容易ではないことを理解し、道徳的価値を実現するために何を大切にしたらよいか考える授業とする。授業の学習テーマを「正しいことを正しいと言うには。」と設定する。教材を通して、良心に従い誠実に実行しようとする心情を育てたい。そこで、本教材を通して、正しいことは分かっているが、それを行おうとすると友情に傷がつくかもしれないという主人公の葛藤に共感させたい。特に、正義と友情のはざままで悩み、葛藤する健二の姿を通して、このようなことは、私たちの生きる現実の社会の中でも起こり得ることに気付かせたい。さらに、同じような場面に遭遇したときに、どういう行動を取るべきかを考え、さらにその裏付けとなる心情を考えることで、良心に従い誠実に実行することの難しさを理解し、実現しようとする心情を育てたい。

4 研究との関わり

(1) 主体的に道徳性を育むための指導の工夫

ア 課題意識・見通し

導入では、自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、「正しいと思っているのに、正しいと言えなかったことはあるか。」と発問し、生活経験を振り返る。さらに学習テーマを「正しいことを正しいと言うには。」と設定し、本時の方向性を確認する。

教材は、自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、主人公が中学生で、同じことが学校生活で起きることが予想される出来事について書かれたものを使用する。

展開前段では、「先生に言いに行こうとするが、行けない健二をどう思いますか。」という発問をし、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める工夫を行う。

イ 学習活動・振り返り

展開後段では、主体的に道徳的価値について考えさせるために、「このあと、あなたが健二なら先生のところに行けますか。」と発問し、理由を考えさせることで、自分ごととして問題を捉えさせ、誠実な行動を取ることの難しさについて自分がどのように考えているのか明らかにする場面を設ける。

終末では、謝罪に行こうとしているが行けない健二に対して、なんと声をかけるか問うことで、「誠実な行動」についてさらに考えを深めさせる。そして、導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「正しいことを正しいと伝えるには、どんなことを大切にしたらよいだろうか。」について問い直すことで、最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。

(2) 問題解決的な学習を取り入れた授業における基本となる学習指導過程

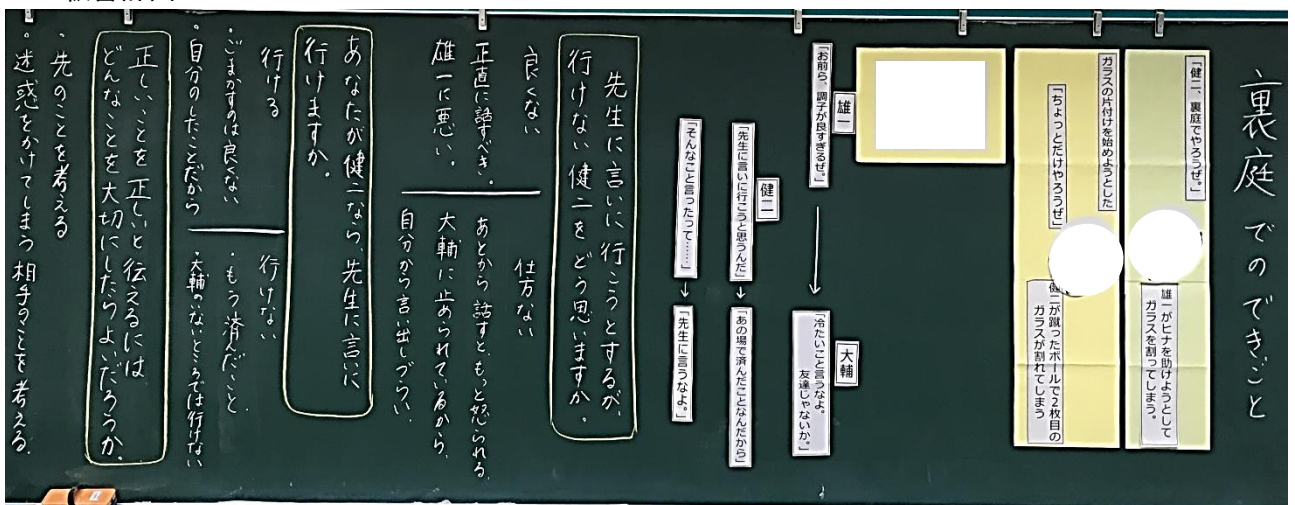
導 入	○教材や日常生活から道徳的な問題を見つけ、学習テーマを共有する。 条件 4	
	【学習例と発問例③】 生活経験を振り返る。	【発問】 「相手に対して、自分が正しいと思っていることなのに、言えなかったことはありますか。」
展 開	○問題場面における主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。 (他者と議論する) 条件 3, 6	
	【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。	【発問】 「先生に言いに行こうとするが、行けない健二をどう思いますか。」
	○「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考える。 条件 5, 6	
	【学習例と発問例⑧】 問題を自分との関係で捉え、その解決に向けて考える。	【発問】 「あなたが健二なら、先生に言いに行けますか。」
終 末	○最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 条件 7	
	【学習例と発問例⑩】 これからの課題や目標について考える。	【発問】 「正しいことを正しいと伝えるには、どんなことを大切にしたらよいだろうか。」

2 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	<p>1 自分の生活を振り返り、問題意識をもつ。</p> <p>(1) 相手に対して、自分が正しいと思っていることなのに、言えなかったことはありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あるかもしれない。 ・ないと思う。 	<p>【学習例と発問例③】 生活経験を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習テーマを共有する。 自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、生活経験を振り返る。さらに学習テーマを「正しいことを正しいと言うには。」と設定し本時の方向性を確認する。</p> </div>
	<p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習テーマ 正しいことを正しいと言うには。</p> </div>		
	<p>3 教材を読み、あらすじを確認する。</p>		
展開	<p>4 主人公の気持ちや行動について考える</p> <p>(1) 先生に言いに行こうとするが、行けない健二をどう思いますか。</p> <p><判断と理由を考える> <判断と理由を話し合う></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○仕方ない <ul style="list-style-type: none"> ・言うタイミングがない。 ・翌日になっているからさらに怒られる。 ・大輔に止められている。 ・なかなか自分では言い出せない。 ○良くない <ul style="list-style-type: none"> ・正直に話すべき。 ・謝っている雄一に悪い。 	<p>【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。他者と議論する。 「先生に言いに行こうとするが、行けない健二をどう思いますか。」という発問をし、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める。</p> </div>
	<p>5 自分との関係で、問題について考える</p> <p>(1) あなたが健二なら、先生に言いに行けますか。</p>		

	<p>6 道徳的価値について、さらに考えを深める。</p> <p>(1) 健二は、謝りに行こうと思っています。あなたが、健二の友達だったら何とアドバイスしてあげますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行った方がいいよ。悪いとわかっているなら、話した方がいいよ。 ・雄一の気持ちも考えて。悩んでいても、何もしなかったら、やらないのと一緒にだよ。 ・もっと罪が重くなるよ。 	<p>謝罪に行こうとしているが行けない健二に対してなんと声をかけるか問うことで、「誠実な行動」について、さらに考えを深める。</p>
<p>終末</p>	<p>7 本時の学習や自己を振り返る。</p> <p>(1) 正しいことを正しいと伝えるには、どんなことを大切にしたらよいか。</p> <p>8 教師の説話を聞く</p> <p>今日、みなさんは正しいことを言うために、どうしたらいいか考えました。「悪いとわかっているなら行動にする。悩んでいても、何もしなかったら、やらないのと一緒にだよ。」などの意見がでました。誠実であろうとする気持ちを大切にしていきたいものですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいことを言わずに、間違ったままですと、あとから大変になると思うので、言い出せなくても、この先のことを考えて、正しいことを話したほうがいいと思いました。私もこれから正しいことをすぐ伝えるようにしていきたいです。 	<p>【学習例と発問例⑩】 これからの課題や目標について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。</p> <p>導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「正しいことを正しいと言うには、どうしたらよいか。」について最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。</p> </div>

3 板書計画



4 ワークシート

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

正しいことを正しいと伝えるには

「裏庭のできごと」

1 先生に言いに行こうとするが、行けない健二をどう思いますか。

判断(良くない ・ 仕方ない)

話し合いのメモ

2 (授業の状況に応じて、発問を書くスペースとして利用する。)

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

Blank space for writing responses to question 3, with horizontal dashed lines for organization.

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にはない考えに気付くことがあった。				
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。				
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。				
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。				
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。				
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。				

5 生徒のワークシート記述例

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

正しいことを正しいと伝えるには

「裏庭のできごと」

1 先生に言いに行こうとするが、行けない健二をどう思いますか。

判断(良くない)・仕方ない)

話し合いのメモ

- ・すときいあく感にさいなまれるよりも、言て認めた方が気持ちか楽になるから
- ・でも、それがき、かけで「周りに」キラわれたら今後の生活に影響うかてたさ困るから、

2 自分だったら、行けるか行けない

多分行けない?

色々怖いことになりそうだから、でも、雄一や大輔が来てくれたら行けるかも知らない、

2人に証人にもなってもらえもし心強い、あんまり責めなさそう、

1人ぼちだったら誰いもない時になら行ける?かも! でも行けたら大輔がマジそう、

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

絶対に正しいというのはいから自分が正しいと思えることをやればいいと思う、

人によって正しいは変わってくるけどそれでも自分の正しいを主張することは一番大切だと思た、

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にない考えに気付くことがあった。		○		
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。		○		
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。		○		
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。		○		
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。		○		
6	これからどのように生活していけばよいかを考えた。		○		

IV 授業3について

1 指導案

道徳学習指導案

- 1 主題名 命あるものとの向き合い方を考える [生命の尊さ]
教材名 サルも人も愛した写真家 (出典 NHK 道徳ドキュメント1 キミならどうする?)
- 2 ねらい 野生生物と人間の共存についての葛藤を通して、自然の生命に対する考えを深めるとともに、他の生命を尊重する態度を養う。

3 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校高学年の内容項目 [生命の尊さ] では、「生命が多く生命のつながりにあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること」を目標としている。中学校では「生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること」とある。小学校における指導内容を更に発展させ、中学校では、人間の生命のみならず身近な動植物をはじめ生きとし生けるものの生命の尊さに気付かせ、生命ある物は互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもつよう指導することが大切である。

本主題では、「野生生物と人間の共存についての葛藤を通して、自然の生命に対する考えを深めるとともに、他の生命を尊重する態度を養う」ことをねらいとしている。そこで、それぞれの生命体が唯一無二の存在であること、しかもそれは全て生きているということにおいて共通であるということなどの学習を通して、自らの生命の大切さを深く自覚させるとともに、他の生命も尊重する態度を身に付けさせたい。

(2) 生徒について

新しい仲間と共に中学校生活をスタートさせ、半年が経過した。学級活動や部活動などの場面において、仲間と協力しながら積極的に取り組んでいる。9月に行われた「心の健康」講演会では、自分もまわりの人もかけがえのない存在であるということを知った。知識として命の大切さを理解しているが、実感が乏しい生徒が多くいる。

そこで本教材を通して、自らの生命の大切さとともに、他の生命も尊重しようとする態度を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、NHK「道徳ドキュメント」による映像教材である。この番組の目的は、実際にあった出来事や人生体験を取り上げ、現実の問題と向き合いながら道徳を考えることをととして制作されている。

主人公は、ニホンザルに魅了され、移住してまで撮り続けてきた動物写真家松岡史郎さんである。青森県下北半島に生息するニホンザルは、世界で最も寒い地域に住むサルとして、国の天然記念物に指定されている。このことから、サルの住む村では保護政策を推進した。しかし、長年の保護の結果、ニホンザルは数を増やし、食べ物を求めて畑を荒らすなど住民の生活を脅かすようになってきた。やむを得ず住民はニホンザルの駆除のため、松岡さんに協力要請する。サルの性格や顔をよく知っている松岡さんは、薬殺するサルを見つけてもらいたいと頼まれるという内容である。

青森県下北半島に生息するニホンザルの問題は、『私たちの道徳』でも「私たちの生活から、野生動物の保護を考える」というテーマで取り上げられている。松岡さんや村の人、サルというように複数の視点で描かれていることから、本教材を使用した。

(4) 指導にあたって

生徒の実態と教材の特質から、道徳的価値について人間としてよりよく生きる上で大切なものは何かを考える授業とし、学習テーマを「命あるものとの向き合い方を考える。」と設定する。教材を通して、自分で判断することの難しさを実感させ、自らの生命の大切さと同じように、他の生命を尊重する態度を育てたい。そこで、まず野生生物と人間の共存について考えさせたい。映像を視聴させ、松岡さんのサルへの深い愛情と、写真家として一生下北半島のサルを撮り続けるという情熱を感じさせたい。ともすれば、人間が自然の主として存在していると考えてしまう生徒もいるかもしれない。そこで、松岡さんのサルや自然への愛情について深く考えることで、人間は自然の中で生かされていることを謙虚に受け止めさせたい。さらに、答えの見つからない課題に対して悩む松岡さんに共感させたい。松岡さんは、サルを殺してほしくない気持ちと、農作物を荒らすサルを駆除するのは致し方ないという気持ちで葛藤する。授業では、生命を尊重しようとする気持ちは、人間誰しも備わっていることに気付かせ、自らの生命の大切さとともに、他の生命も尊重しようとする態度を育てたい。

4 研究との関わり

(1) 主体的に道徳性を育むための指導の工夫

ア 課題意識・見通し

教材は、難しい事態に直面した人が何を考え、どう判断し、行動したのかを描いた番組を使用する。番組は、生徒が自分自身のこととして問題に向き合い考えられるように、分割して提示できるよう構成されている。

導入では、学習テーマを「命あるものとの向き合い方を考える。」と設定し、実際に起きている問題を取り上げることを伝え、学習の意欲を喚起する。

展開前段では、「サルの駆除に協力することを頼まれた松岡さんは、この後どうしたでしょうか。」と発問をし、生徒に松岡さんと自分を重ねて考えさせ、同じような場面に遭遇したときに、どういう行動をとるべきかを考えさせたい。さらに、ペアで話し合わせることで、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める工夫を行う。

イ 学習活動・振り返り

展開後段では、道徳的価値について多面的・多角的に捉えるために、「愛したサルの最期を見届け、命と向き合った松岡さんをどう思いますか。」と発問し、理由を考えさせることで、自分で判断することの難しさと大切さを実感させ、自らの生命の大切さと同じように他の生命を尊重しようとする態度を育てたい。

終末では、さらに考えを深めさせるために、害虫供養を毎年行っている製薬会社の新聞記事を紹介する。これにより、生命を尊重しようとする気持ちは、今回の松岡さんだけに限ったことではなく、誰しも備わっていることに気付かせる。さらに、導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「命あるものとの向き合い方」について、最終的な自分の判断をまとめ、これからの課題や目標を見付けることにつなげる。

(2) 問題解決的な学習を取り入れた授業における基本となる学習指導過程

導 入	○教材や日常生活から道徳的な問題を見つけ、学習テーマを共有する。 条件4	
	【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。	【発問】 「命あるものとの向き合い方について考えてみよう。」
展 開	○「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考える。 (他者と議論する) 条件5, 6	
	【学習例と発問例⑦】 問題解決に向かう主人公について考える。	【発問】 「サルの駆除に協力することを頼まれた松岡さんは、この後どうしたでしょうか。」
	○問題場面における主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。 条件3, 6	
	【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。	【発問】 「愛したサルの最期を見届け、命と向き合った松岡さんをどう思いますか。」
終 末	○最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 条件7	
	【学習例と発問例⑩】 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。	【発問】 「命との向き合い方についてどんなことを考えましたか。」

2 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	<p>1 本時の課題に関わる問題意識をもつ。</p> <p>(1) 今日のテーマは命との向き合い方についてです。実際に起こった出来事を通して考えます。私はとても悩みました。そしてみなさんがどんなことを考えるのか知りたくなりました。</p> <p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p>		<p>【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習テーマを共有する。 導入では、本時の学習テーマを「命あるものとの向き合い方について考える。」と設定し、実際に起きている問題を取り上げることがを伝え、学習の意欲を喚起する。</p> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習テーマ 「命あるものとの向き合い方」について考える。</p> </div> <p>3 教材を視聴し、あらすじを確認する。</p>		
	<p>4 主人公の気持ちや行動について考える。</p> <p>(1) サルの駆除に協力することを頼まれた松岡さんは、この後どうしたでしょうか。</p> <p><判断と理由を考える> <判断と理由を話し合う></p>	<p>○協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> このままだと人間の迷惑になってしまう。村の人のために限られたサルだけなら、駆除に協力したと思う。 見分けられるのは、自分しかいないと思うから。 協力しないと、他のサルも無差別に殺されてしまうから。 <p>○協力しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> サルを殺すのはつらすぎる。 移住までして、サルを愛しているからできない。 殺すためにかわいがって名前をつけていたわけじゃないから。 	<p>【学習例と発問例⑦】 問題解決に向かう主人公について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考え、他者と議論する。 生徒に松岡さんと自分を重ねて考えさせ、同じような場面に遭遇したときに、どういう行動をとるべきかを考えさせる。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める工夫を行う。話し合うことで自分にはなかった考え方に気付かせる。</p> </div>
<p>5 教材を視聴し、自分との関係で、問題について考える。</p> <p>(1) 松岡さんは、ハナピにどんな言葉をかけていたと思いますか。</p> <p>(2) 愛したサルの最期を見届け、命と向き合った松岡さんをどう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごめんよ。人間のせいでこんなことになって。 いたずらしなきゃ良かったんだぞ。 <p>・本当にかわいそうです。私がそう思うのだから、松岡さんはもっと辛かったと思います。そこまでして、命と向き合うことができる松岡さんは本当にサルを大事にしていたのだと思いました。</p>	<p>【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。 判断することの難しさと大切さを実感させ、自らの生命の大切さと同じように、他の生命を尊重しようとする態度を育てたい。</p> </div>	

	<p>6 道徳的価値について、さらに考えを深める。</p> <p>(1) この問題は、依然として解決されていません。この問題の他にも、人間の生活のために亡くなっている命があります。新聞記事を紹介します。製菓会社の人たちが、実験で殺してしまった害虫たちのために、毎年供養をしているそうです。こうして命と向き合っている人たちもいます。</p>		<p>害虫供養を毎年行っている製菓会社の新聞記事を紹介する。これにより、生命を尊重しようとする気持ちは、今回の松岡さんだけに限ったことではなく、誰しも備わっていることに気付かせる。</p>
<p>終末</p>	<p>7 本時の学習や自己を振り返る。</p> <p>(1) 今日の授業を通して、命あるものとの向き合い方について考えたことを書きましよう。</p> <p>8 教師の説話を聞く</p> <p>命あるものとの向き合い方について、考えました。人間の都合のために、殺されていい命はありません。でも私たちが気付かないだけで、奪われている命があります。今日をきっかけに、これからもその命に目を向けて生活して行ってほしいです。</p>	<p>・命との向き合い方はとても難しいことだと思います。理由は人とサルどちらにも命があり、判断でサルを殺すか、村人の生活を苦しめるかの選択で迷い、それを決めるのは、松岡さん1人だけなので、僕は難しいと思いました。これからは命との向き合い方を大切に、人間のために亡くなった生き物に感謝して生活していきたいです。</p>	<p>【学習例と発問例⑩】 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。</p> <p>導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「命あるものとの向き合い方」について、最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。</p> </div>

3 板書計画

命あるものとの向き合い方を考える

- ・北限のサル
- ・天然記念物

ツツジ

ハナビ

馬区除を頼んだ松岡さん

<p>協力しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルを殺すのはつらすぎる。 ・殺すために名前をつけたわけじゃない。 	<p>協力した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の人たちのために ・自分にしかできない ・他の村たちが無差別に殺されていく
--	---

松岡さんの向き合い方

悔しそうなの村の人たちの表情

20年間見つめてきたサルの表情

最期を見届け、命と向き合った松岡さんはどう思いますか。

命あるものとの向き合い方についてどんなことを考えましたか。

愛するサルを死に導くことになる

最期に立ち会ったことについて
 「僕は断って、見たくもないといって通ぐこともできましたよ。でも、その後はどうやってどんな顔してサルに会うか、選んでるんじゃないかと思えたわけ。現実からね。」

・サルを大事にしていた人。・強い人。

・生き物に感謝したい。

・どちらの立場のことも考えるのが大切。

4 ワークシート

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

命あるものとの向き合い方について考える 「サルも人も愛した写真家」

1 サルの駆除に協力することを頼まれた松岡さんは、この後どうしたでしょうか。

判断 (協力する ・ 協力しない)

話し合いのメモ

2

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とても ある	ある	あまり ない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にはない考えに気付くことがあった。				
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。				
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。				
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。				
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。				
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。				

5 生徒のワークシート記述例

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

命あるものとの向き合い方について考える サルも人も愛した写真家

1 駆除を頼まれた松岡さんは、どうしたと思いますか。

判断(協力しなかった)

話し合いのメモ

町の人に、みかいを、あたえたから...
20年間、サルを愛し、続けて、みょうご県から青森県に移住してきたから殺すのは、かわいそう。

2

松岡さんの「協力し断る、見たいない」という気持ちがよく伝わってきました。私も、もし松岡さんのところに行くとしたら、ことわると思いますが、町の人たちの思いもよく分かるけど、20年間サルを愛し続けてきた。この思いは、松岡さんだけが分からないと思うからです。だから、松岡さんはとてむすこしなと思いました。

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

農作物を守るためだけに、サルを殺すのはとてむかひそうだなと思いました。それから、松岡さんは今でも、こうかしていると思います。私は、松岡さんも、サルもとるかわらぬらたと思いました。でも年に1度お寺でサルのためのあつかとう、という思いで、おかんでいる写真を見て私は、びっくりしました。

この学習で命あるものとの向き合い方には、自分とも向き合えないといけないということも学びました。

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にはない考えに気付くことがあった。	○			
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。	○			
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。		○		
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。	○			
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。	○			
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。	○			

V 授業4について

1 指導案

道徳学習指導案

- 1 主題名 自分をコントロールするには〔節度，節制〕
教材名 釣りざおの思い出（出典 学研「かけがえのないきみだから 1年」）
内なる敵（出典 文部科学省「私たちの道徳」）
- 2 ねらい 自分勝手な考えで時間を守らなかった主人公の行動を通して，衝動に流されることなく，自制することの大切さに気付かせ，節度を守り節制を心掛けようとする態度を養う。
- 3 主題設定の理由
 - (1) 価値について
小学校高学年の内容項目〔節度，節制〕では，「安全に気をつけることや，生活習慣の大切さについて理解し，自分の生活を見直し，節度を守り節制に心掛けること」を目標としている。中学校では「望ましい生活習慣を身に付け，心身の健康の増進を図り，節度を守り節制に心掛け，安全で調和のある生活をする」とある。小学校における指導内容を更に発展させ，中学校では，充実した人生を送る上で，望ましい生活習慣を身に付けることなどが欠かせないものであることを自覚させる必要がある。自らの欲望や衝動の赴くまま行動してしまい，心身の健康を損ねることのないようにしなければならない。そのためには，そうした状況に至らない適度な程度としての「節度」を意識し，その節度を超えないように欲望を抑え，自己を統御する「節制」が求められる。
 - (2) 生徒について
中学校1年生は，中学生になったという意識も働き，これまで身に付けてきた基本的な生活習慣や，交通安全等の安全に関わる活動に対し，ためらったり，軽く考えたりすることも起きてくる。そんな中学生に対して，小学校段階からの節度・節制の大切さについての理解を一層深めるとともに，単に日々の生活だけの問題ではなく，自らの生き方そのものの問題であり，人生をより豊かなものにする事との関係で考えさせたい。
 - (3) 教材について
本教材は，学研「かけがえのないきみだから 1年」に収録されている読み物教材である。主人公は，釣りが大好きな「わたし」であり，少年時代の思い出を描いている。ある日，母が無理をして，主人公がずっと憧れていた釣りざおを買ってくれた。そのさおで釣りに出かける日，父から，釣りは来週にしないかと言われる。実はいとこの正ちゃんの容態がおもわしくなく，見舞いにいこうという話であった。しかし，主人公は父の提言を受け入れず，また母とは軽い気持ちで帰宅時間を約束し，一日中釣りに夢中になってしまった。途中で約束の時間に気付いたが，結局釣りを続けてしまう。家に帰ってその釣果を母に見せようとしたが，母はその場で釣りざおを折ってしまった。
主人公の弱さに気付かせるため，『私たちの道徳』にある「内なる敵」を紹介し，理解を深める。
 - (4) 指導にあたって
生徒の実態と教材の特質から，道徳的価値の実現は容易ではないことを理解し，道徳的価値を実現するために何を大切にしたらよいか考える授業とする。授業の学習テーマを「自分をコントロールするには。」と設定する。教材を通して，自分の弱さに負けないように自制し，節度を守り節制を心掛けようとする態度を育てたい。そこで，憧れの釣りざおで釣りに行くことに気持ちをとられ，約束の時間を過ぎても釣りを続けてしまう主人公の弱さに共感させる。さらに，釣りざおを折る母を見つめる主人公に自分を重ねて考えることで，時間や約束を大切にすること，節度を意識し自制することは，自らの生き方そのものの問題であり，人生をより豊かなものにする事であることに気付かせたい。

4 研究との関わり

(1) 主体的に道徳性を育むための指導の工夫

ア 課題意識・見通し

導入では、自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、「自分をコントロールできなかったことはありませんか。」と発問し、生活経験を振り返る。さらに学習テーマを「自分をコントロールするには。」と設定し本時の方向性を確認する。

展開前段では、『最後の一匹を釣ったら帰ろう』と思って釣りを続けるわたしをどう思いますか。」という発問をし、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める工夫を行う。

イ 学習活動・振り返り

展開後段では、主体的に道徳的価値について考えさせるために、「釣りざおを折る母の涙を見て、私はどんなことを思いましたか。」と発問する。このことにより、自分ごととして問題を捉えさせ、自分に都合の良い言い訳をして、自分の弱さに負けてしまった主人公に気付かせたい。

終末では、導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「自分をコントロールするには、どんなことを大切にしたらよいだろうか。」と問い直すことで、最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。

(2) 問題解決的な学習を取り入れた授業における基本となる学習指導過程

導 入	○教材や日常生活から道徳的な問題を見つけ、学習テーマを共有する。 条件 4	
	【学習例と発問例③】 生活経験を振り返る。	【発問】 「自分をコントロールできなかったことはありますか。」
展 開	○問題場面における主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。 (他者と議論する) 条件 3, 6	
	【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。	【発問】 「『最後の一匹を釣ったら帰ろう』と思って釣りを続ける私をどう思いますか。」
	○「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考える。 条件 5, 6	
	【学習例と発問例⑦】 問題解決に向かう主人公について考える。	【発問】 「釣りざおを折る母の涙を見て、私はどんなことを思いましたか。」
終 末	○最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 条件 7	
	【学習例と発問例⑩】 これからの課題や目標について考える。	【発問】 「自分をコントロールするには、どんなことを大切にしたらよいだろうか。」

2 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	<p>1 自分の生活を振り返り、問題意識をもつ。</p> <p>(1) やろうと思っていたのに勉強できなかつたり、遊んでしまつたりしたことはありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あります。 ・あるかもしれない。 	<p>【学習例と発問例③】 生活経験を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習テーマを共有する。 自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、生活経験を振り返る。さらに学習テーマを「自分をコントロールするには」と設定し本時の方向性を確認する。</p> </div>
	<p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>学習テーマ 自分をコントロールするには。</p> </div>		
	<p>3 教材を読み、あらすじを確認する。</p>		
展開	<p>4 主人公の気持ちや行動について考える。</p> <p>(1) 最後の一匹を釣ったら帰ろうと思って釣りを続けるわたしをどう思いますか。</p> <p><判断と理由を考える> <判断と理由を話し合う></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○良くない。 <ul style="list-style-type: none"> ・母との約束を軽く考えているから ・気付いた時点で、急いで帰るべきだったと思う。 ○仕方ない。 <ul style="list-style-type: none"> ・大漁だったから、こんな日はめったにないから。 ・少しくらい、いいかなと思う気持ちはわかる。 ・もう約束の時間は過ぎていたから、最後の1匹を釣ると、今帰るのは同じだと思ったから。 	<p>【学習例と発問例⑥】 問題場面における主人公について自分の感じ方を明らかにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主人公の心情・行動について多面的・多角的に考え、他者と議論する。 『最後の一匹を釣ったら帰ろう』と思って釣りを続けるわたしをどう思いますか。」と発問をし、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。</p> </div>
	<p>5 自分との関係で、問題について考える。</p> <p>(1) 母は、帰ってくるはずのわたしを、玄関の前で待っていました。主人公の行動と、従兄弟の死は直接関係しませんが、どうにか死に目に合わせようとして主人公の帰りを待っていました。釣りざおを折る母の涙を見て、わたしはどんなことを思いましたか。</p>		

	<p>6 道徳的価値について、さらに考えを深める。</p> <p>(1) わたしにどんなことに気付いてほしくて、母は、釣りざおを折ったのだろうか。</p> <p>(2) 「俺の敵はだいたい俺です」という言葉があります。この敵とはどんな自分のことでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の都合で、決めた時間を延ばしていつってしまう弱さを気付かせたかった。 ・時間を守れない自分。 ・弱い自分。 	<p>「自制」についてさらに考えを深めるために、「私たちの道徳」にある「内なる敵」を取り上げる。</p>
<p>終末</p>	<p>7 本時の学習や自己を振り返る。</p> <p>(1) 自分をコントロールするには、どんなことを大切にしたらよいだろうか。</p> <p>8 教師の説話を聞く</p> <p>今日、みなさんは自分をコントロールするにはどうしたらいいか考えました。これは、今だけに限らず大人になっても大切なことです。今日考えた自分なりのコントロールの仕方、よりよい自分を作っていくてほしいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の心が自分自身をどのように導くかと考えるコントローラーだと僕思います。そのコントローラーを自分の良い方だけにもって行けば弱い心になってしまし、自分のことだけではなく、まわりの人のことを考えるようになって行けば強い心になるので、自分がどのように考えて行動するかによって人の心は変わっていくと思いました。 	<p>【学習例と発問例⑩】 これからの課題や目標について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「自分をコントロールするには、どんなことを大切にしたらよいだろうか。」について最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。</p> </div>

3 板書計画

The board plan is written on a dark background and includes the following content:

- Top Right:** 釣りざおの思い出 (Thinking of the fishing rod), 古い思い出 (Old memories).
- Right Side:**
 - あこれの釣りざお (This fishing rod) - 無理をして買ってくれた (Bought it with effort).
 - 五時半 (5:30) - いや五時半には帰るか (No, it's 5:30, are you going home?).
 - 思いがけないほどの大漁 (A catch of fish I didn't expect).
 - 最後の一匹を釣ったら帰ろう (Let's go home after catching the last fish).
- Center:**
 - 母との約束を軽く考えている (Thinking lightly of the promise with mother).
 - 気が付いた時に、急いで帰るべき (When I realized it, I should hurry home).
 - 最後の二匹を釣っても、今帰っても同じだと思えた (Even if I catch the last two fish, I thought it was the same as going home now).
 - 自分勝手なことをしてしまいました (I did selfish things).
 - 自分の息をみえを優をさせてしまった (I let my breath be gentle).
 - 後悔 (後悔) (Remorse)
 - 謝罪 (謝罪) (Apology)
 - 釣リざおを折る母の涙を見て、私はどんなことを思っただろうか (Seeing mother's tears from breaking the fishing rod, what was I thinking?).
- Left Side:**
 - 俺の敵は (My enemy is) - だいたい俺です (Basically me).
 - 自分勝手なことをしてしまいました (I did selfish things).
 - 自分の都合のよいように考えてしまつ自分 (Thinking of myself in a way convenient for me).
 - 時間を守れない、弱い自分 (I can't keep time, weak me).
 - 自分をコントロールするには、どんなことを大切にしたらよいだろうか (To control myself, what should I value?).
 - 自分以外のまわりり人のことも考える、先のことさ考えるようにする (Thinking of people around me besides myself, thinking about things in advance).

4 ワークシート

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

自分をコントロールするには

「釣りざおの思い出」

1 『最後の一匹を釣ったら帰ろう』と思って釣りを続ける私をどう思いますか。

判断(良くない ・ 仕方ない)

話し合いのメモ

2 (授業の状況に応じて、発問を書くスペースとして利用する。)

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

Blank writing area with horizontal dashed lines.

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にはない考えに気付くことがあった。				
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。				
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。				
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。				
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。				
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。				

5 生徒のワークシート記述例

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

自分をコントロールするには

「釣りざおの思い出」

1 『最後の一匹を釣ったら帰ろう』と思って釣りを続ける私をどう思いますか。

判断(良くない) ← (仕方ない)

話し合いのメモ

① ずっとほしか、たつりざおがようやく手に入って、フリに、夢中になっ
てしまったのは仕方ない。 ↓

② 仕方ないというのは、いいわけで、自分でも、時間を決めて、つ
りに行ったのに、それをやがってしまったのは、良くないと思う。

2

- とりかえしのつかないことをしてしまった。
- しっかりと自分で決めた時間を守らばよかった。
- 私が、もう少し早く帰れば良かったんだ...
- 正ちゃんも、おみぎいに来てほしかつと、思えし、お母さんとの約束
も、しっかり守れば、大切なつりざおを 折られることもなかった。
- 正ちゃんの命よりも、自分の自分勝手な行動の責を選んてしまった。
と 思 っ た と 思 っ つ。 ↑

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

私は、今日の学習で、自分の事よりも、まず、先に中々先しなければいけ
ない事があることを学びました。

自分では、思っていかなかったことなど、後になってこうかいいしないう
に、まず、先に、自分よりも、大切なことがあつたのが、しっかりと、確にんして
から行動した方が、自分のためにも、相手のためにもなつたと思つ。

なによりも、大切なものは、命なのだから、それよりも大切なものは、な
いのだから、ということを学べた。

相手の気持ちや考え、行動の仕方が大切なことと、自分が分かつた。

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。

		とても ある	ある	あまり ない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にない考えに気付くことがあつた。		○		
2	友達の意見を聞いて、なるほど思つたりすることがあつた。	○			
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わつたことがあつた。		○		
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。	○			
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。		○		
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。	○			

自分よりも先に相手のことを考える大切

VI 授業5について

1 指導案

道徳学習指導案

- 1 主題名 人が暮らすためには何が必要なんだろう [郷土を愛する態度]
教材名 わたしの宝物 (自作資料)
- 2 ねらい 人が暮らすためには何が必要かを考えることを通して、社会の一員としての自覚を持ち、郷土を大切に作る心や態度を育てる。

3 主題設定の理由

(1) 価値について

小学校高学年の内容項目 [郷土を愛する態度] では、「我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと」を目標としている。中学校では「郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること」とある。小学校における指導内容を更に発展させ、中学校では、地域の人々との人間関係を問い直したり、地域社会の実態を把握させたりして、郷土に対する認識を深め、郷土を愛しその発展に努めるよう指導していく必要がある。問題意識をもち、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲と態度を育てることが求められる。

(2) 生徒について

多くの生徒たちにとって、地域に住む人々との触れ合いや、共に協力して何かを成し遂げるという機会は多いとは言えない状況にある。そこで、地域の方に郷土の伝統文化を尊重し郷土を愛する思いを語ってもらうことや、郷土について調べたことを通して、郷土に対する認識を深め、郷土を愛しその発展に努めるよう指導していく必要がある。

(3) 教材について

NPO 法人のんのりのだ物語を設立し、野田村の魅力为全国に発信している下向理奈さんが主人公である。野田村出身で群馬の大学に進学した後、東京で就職したが、東日本大震災津波で実家が被災したことを機に、平成 23 年 8 月に野田村へ U ターンする。平成 24 年 8 月から野田村で定住交流促進事業・体験教育旅行コーディネーターとして勤務したのち、村を訪れたい人の要望に柔軟に対応できる組織や長期間のフォローが重要と感じて NPO 法人を立ち上げる。野田村のために一人何役もの仕事をこなす下向さんの暮らしを紹介する。

(4) 指導にあたって

生徒の実態と教材の特質から、道徳的価値の実現は容易ではないことを理解し、道徳的価値を実現するために何を大切にしたらよいか考える授業とする。授業の学習テーマを「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」と設定する。教材を通して、一人一人に自分も社会の一員であるという自覚を持たせ、郷土を大切にしようとする意欲を育てたい。そこで、人が暮らすためには、何が必要なのかを考えさせたい。まず、岩手県野田村の復興のようすを知ることを通して、人々が生活していくために必要なものはないのかと問いかけ、人が暮らしていくための条件を考えさせたい。さらに、下向さんの活動を知ることによって、地域の人とのつながりや、よりよい社会を実現しようとする素晴らしさを感じさせたい。下向さんが、社会を構成する多くの人々と助け合い励まし合いながら活動していく姿を通して、人が暮らしていくには、生きがいや誇り、人とのつながりが大切であることに気付かせたい。

4 研究との関わり

(1) 主体的に道徳性を育むための指導の工夫

ア 課題意識・見通し

導入では、自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」と発問し、生活経験を振り返る。さらに学習テーマを「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」と設定し本時の方向性を確認する。

展開前段では、『自分のふるさとのことがあまり好きではなかった。』と話す理奈さんをどう思いますか。』という発問をし、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める工夫を行う。

イ 学習活動・振り返り

展開後段では、主体的に道徳的価値について考えさせるために、「様々な苦労があるにも関わらず、理奈さんが、活動を続ける理由はなんだろう。」と発問する。このことにより、自分ごととして問題を捉えさせ、地域の人とのつながりや、よりよい社会を実現しようとする理奈さんの思いに気付かせたい。

終末では、導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」と問い直すことで、最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。

(2) 問題解決的な学習を取り入れた授業における基本となる学習指導過程

導 入	○教材や日常生活から道徳的な問題を見つけ、学習テーマを共有する。 条件 4	
	【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。	【発問】 「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」
展 開	○問題場面における主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。 条件 3, 6 (他者と議論する)	
	【学習例と発問例⑥】 問題解決に向かう主人公について自分の感じ方を明らかにする。	【発問】 『自分のふるさとのことがあまり好きではなかった。』と話す理奈さんをどう思いますか。』
	○「自分ならどうするか」「なぜそうするのか」について、多面的・多角的に考える。 条件 5, 6	
	【学習例と発問例⑦】 問題解決に向かう主人公について考える。	【発問】 「様々な苦労があるにも関わらず、理奈さんが活動を続ける理由はなんだろう。」
終 末	○最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。 条件 7	
	【学習例と発問例⑩】 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。	【発問】 「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」

2 本時の展開

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点	
導入	<p>1 教材の内容に、興味や関心をもつ。</p> <p>(1) 人が暮らすためには何が必要なんだろう。</p> <p>(2) 野田村の被害状況や復興の様子を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べるもの。 ・ 着るもの。 ・ 住むところ。 ・ 仕事, 学校。 	<p>【学習例と発問例②】 教材の内容に興味や関心をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習テーマを共有する。 自分ごととして道徳的価値を捉えることができるように、生活経験を振り返る。さらに学習テーマを「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」と設定し本時の方向性を確認する。</p> </div>	
	<p>2 本時の学習の方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習テーマ 人が暮らすためには何が必要なんだろう。</p> </div>			
	<p>3 教材を読みし、あらすじを確認する。</p>			
展開	<p>4 主人公の気持ちや行動について考える。</p> <p>(1) 「自分のふるさととことがあまり好きではなかった」と話す理奈さんをどう思いますか。</p> <p><判断と理由を考える。> <判断と理由を話し合う。></p>	<p>○ 良くない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住んでいる地域を大切にすべき。 ・ お世話になっている人に失礼。 <p>○ 仕方ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で選んだ場所じゃないから。 ・ 近所の人に噂されるのは嫌だと思ふ。 	<p>【学習例と発問例⑥】 問題解決に向かう主人公について自分の感じ方を明らかにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主人公の心情・行動について多面的・多角的に考える。他者と議論する。 『自分のふるさととことがあまり好きではなかった。』と話す理奈さんをどう思いますか。」という発問をし、道徳的価値について多面的・多角的に捉えることができるようにする。さらに、ペアで話し合わせることにより、根拠となる自らの考えを表出させ、多様な意見に気付かせ、自らの意見を深める。</p> </div>	
	<p>5 自分との関係で、問題について考える。</p> <p>(1) 様々な苦労があるにも関わらず、理奈さんが、活動を続ける理由はなんだろう。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を愛しているから。 ・ 地域のために役に立ちたいと思っているから。 ・ 地域をたくさんの人に知ってほしいから。

	<p>6 道徳的価値について、さらに考えを深める。</p> <p>(1) 「野田村に住んでいて良かったと思える人を増やしたい。」という願いには、理奈さんのどんな気持ちが含まれているのでしょうか。</p> <p>(2) 理奈さんは、村を訪れる人に楽しんでもらうのはもちろんですが、村の人たちに元気になってもらいたいという気持ちがあります。理奈さんは村の誇りの再生を目指して、今も活動を続けています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のように、ふるさとのことが好きではない人にも、ふるさとの良さを知ってほしい。 ・地域の人に、自信を持ってほしい。 	<p>理奈さんの願いである「村の誇りの再生」を紹介する。これにより、理奈さんが考える「人の暮らしに必要なもの」について知り、自分の考えをさらに深める。</p>
<p>終末</p>	<p>7 本時の学習や自己を振り返る。</p> <p>(1) 人が暮らすためには何が必要なんだろう。</p> <p>8 教師の説話を聞く</p> <p>私たちのふるさとは、家族や学校の仲間と同じように大切なものです。私たちの生活は、ふるさとに支えられています。理奈さんのように、ふるさとの良さに気付き、支えられる側から支える側になっていきたいものですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人が暮らすためには、食料、水などあるけど、やっぱり人のあたたかい心と、自分自身の誇りだと思いました。 ・自分のふるさとが好きではなかったとしても、今住んでいる所の良いところを沢山自分で見つけることが大切なのだと思う。そして、地域の人たちと協力して活動することで、自慢したくなり、誇りをもつほど好きになるのだと感じた。 	<p>【学習例と発問例⑩】 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>最終的な自分の判断をまとめ、学習や自己を振り返る。</p> <p>導入で設定した学習テーマをもう一度取り上げ、「人が暮らすためには何が必要なんだろう。」について最終的な自分の判断をまとめ、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる。</p> </div>

3 板書計画

人が暮らすためには何が必要なんだろう

岩手県 野田村
くらしの移り変わり

野田村大学

避難所
↓
仮設住宅
↓
公営住宅

わからない

- ・自分の地域を大切にすべき
- ・お世話になっている人に失礼

教授 = 村の人
学生 = 野田村にきた人

わかる

- ・自分で選んだ場所ではないから
- ・近所の人にうわさを立てられるのはいやだから

下向理奈さん わたしの宝物

理奈さんが活動を続ける理由はなんだろう

- ・地域を愛しているから
- ・地域のために役に立ちたいから
- ・たくさんの人に知りてほしい

人が暮らすためには、何が必要なんだろう

- ・住んでいるところを好きになる
- ・まわりの人との協力
- ・誇りに思えること

4 ワークシート

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

人が暮すためには何が必要なんだろう

「わたしの宝物」

1 ふるさとがあまり好きではなかった理奈さんをどう思いますか。

判断(わかる ・ わからない)

話し合いのメモ

2 (授業の状況に応じて、発問を書くスペースとして利用する。)

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。

		とても ある	ある	あまり ない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にない考えに気付くことがあった。				
2	友達の意見を聞いて、なるほど思ったりすることがあった。				
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。				
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。				
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。				
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。				

5 生徒のワークシート記述例

道徳シート 1年()組()番氏名() 月 日()

人が暮らすためには何が必要なんだろう

「わたしの宝物」

1 ふるさとがあまり好きではなかった理奈さんをどう思いますか。

判断 (わかる・わからない)

理由のメモ

地方の方だと、都会のところに比べて、かわいい物やナウイ物が少ないし、ディズニーランドみたいなところが全くないから、新しい流行の物がない所に住んでいた理奈さんの気持ちがよく分かります。

2

小さい頃は、好きではないところが多くて、いいところを見ても「好きじゃない」と思いこんでいたけど、野田村とみらためて、かかわっていくうちに、いいところを見つけることができたと思います。

3 今日の学習で感じたこと、考えたことを書こう。

人が暮らすために必要な物は、人1人1人のほしりだとも思います。お金とかスマートフォンとかじゃなくて、人の感情を宝物していくのがとても大切だと思ったし、私もふるさが大好きでわけじゃないけど、いいところをみつけたいです。

自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。		とてもある	ある	あまりない	ない
1	友達の意見を聞いて、自分にない考えに気付くことがあった。	<input checked="" type="radio"/>			
2	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがあった。		<input type="radio"/>		
3	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがあった。		<input type="radio"/>		
4	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考えた。		<input type="radio"/>		
5	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考えた。		<input type="radio"/>		
6	これからどのように生活していけばよいのかを考えた。		<input type="radio"/>		

わたしの宝物

村の人たちの笑顔を思い浮かべながら作業をする下向理奈さん

「東日本大震災で、甚大な被害を受けた野田村は、現在では、都市公園事業、高台移転事業と目に見えた復興が進み、仮設住宅から抜ける人たちもどんどん増えています。しかし、家が建ったから、道路ができたから復興が完了とは思いません。」そう話すのは、野田村のために活動している下向理奈(しもむかいりな)さんです。野田村で生まれ育った理奈さんですが、小さい頃は、野田村のことが、あまり好きではなかったそうです。

理奈さんがまだ小学生だったとき、仲の良い友達と決めた待ち合わせ場所がありました。それは、たばこの自動販売機の前でした。理奈さんが待ち合わせをするようになってから数日後、「理

奈がタバコ買っていた。」と近所の人にはうわさされてしまいました。(ここで待ってただけなのに……、タバコなんて買ってない。)ショックで涙がこぼれました。それから理奈さんは、地域の人々はみんな自分のことを見ている、どこにいても何をしても、知られているような気がして、人との関わりがわずらわしいと思うようになりました。さらに、都会に住んでいるいとこたちには、いとこたちが、岩手では手に入らない流行の持ち物や、おしゃれな洋服を身につけていて、(どうして、自分はここに生まれただろう)と思うようになりました。

高校卒業後、理奈さんは大学進学のため、ふるさとを離れます。その後、東京で就職し、憧れだった都会での暮らしをスタートさせます。働くことは大変でしたが、便利で新しく、魅惑的なものに溢れている都会は、理奈さんにとって憧れの生活そのものでした。充実した毎日を送っていたころ、東日本大震災が起こります。津波で思い出のつまった実家も全壊してしまいました。(生活が落ち着いたら、また東京へ戻ろう。)そう思った理奈さんは、生まれ故郷の野田村に戻ることにしました。

野田村に帰郷した理奈さんは、臨時職員として、野田村役場で働き始めます。担当は、移住を呼びかけたり、体験活動をコーディネートしたりする仕事でした。野田村のことをあまり好きではなかった理奈さんでしたが、「星空がキレイ！」「海がキレイ！」「住んでいる人たちがステキ！」と感動する参加者を見て、野田村のことがだんだん自慢に思えてくるようになりました。さらに受け入れる村の人たちが楽しお姿を見て、そのお手伝いができる嬉しさを感じました。そして、野田村にしかない宝物があることに気付きます。

野田村の人たちと野田に来たいと思っている人たちのつながりを、さらに深いものにしたいと思った理奈さんは、平成二十七年三月、野田村役場を退職し、NPO法人「のんのりのだ物語」を立ち上げました。「のんのり」は村の方言で「ほれるくらい、たくさん」という意味です。メンバーは村内の農家さんや漁師さん、会社勤めの人などの十一人で、村内ツアーの企画・調整、村民の新たな活動の支援が主な活動です。さらに、震災復興を通じてうまれた学生とのコラボ企画、村内外の女性たちがアクセサリ作り体験や雑貨販売などを楽しむ「のだ村ガールズコレクション」を開催するなど、新たな交流をうみだす取り組みを理奈さんが中心となって進めていきました。

そして翌年四月、野田村の自然のなかで産業や文化を学ぶ野田村大学を設立しました。野田村大学は、昔ながらの暮らしの知恵をもった野田村民が教授となり、海や畑、民家の台所など村全体が学びのフィールドという仮想の大学です。学生たちは、農業、漁業、食文化、歴史などを体験し、村の人からさまざまなことを学んでいきます。

これまでの事業に加え、野田村大学という大きなプロジェクトを立ち上げた理奈さんは、忙しい日々を送っています。全国でも前例のない取り組みで、思いもよらないトラブルが舞い込む場合もあります。理奈さんは、野田村に来たい人と、受け入れる野田村の人の両方が満足してもらえるように、連絡調整はもちろん、きめ細かい心配りを大切にしています。「企画調整の時は大変なこともあります。来てくれた人が帰る瞬間に村の人が涙ぐんだり、また来てねと言って握った手を離さず、何度も握手したりしているシーンを見ると、この仕事をやっていて良かったと感じます。野田村に住んでいて良かったと思える人が一人でも増えるように、これからも活動を続けていきます。」と、笑顔で話しました。

Ⅶ 事前アンケート

道徳の授業のためのアンケート

1年 組 番 氏名 _____

道徳の授業をよりよい時間にするため、道徳の授業について、みなさんの思っていることや感じていることを教えてください。

① 道徳の授業について、自分の気持ちに当てはまるものに○をしてください。

	質 問	とても ある	ある	あまり ない	ない
1	道徳の授業の話し合いで、友達の意見が聞きたくなる。				
2	道徳の授業の話し合いで、自分の意見を話したくなる。				
3	友達の意見を聞いて、自分にない考えに気付くことがある。				
4	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがある。				
5	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがある。				
6	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考える。				
7	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考える。				
8	これからどのように生活していけばよいのかを考える。				

② 道徳の授業について教えてください。

(例：覚えている授業やお話、お友達の意見、考えたいことやお願いしたいことなど自由に書いてください。)

みなさんのご意見を参考にします。ご協力ありがとうございました。

Ⅷ 事後アンケート

道徳の授業のためのアンケート（2回目）

1年 組 番 氏名 _____

道徳の授業では、9月から4つのテーマについてみなさんと考えてきました。

- | | | |
|------|---------------------|---------------|
| テーマ1 | 思いやる相手について考える | 「だれを先に乗せる」 |
| テーマ2 | 正しいことを正しいと言うには | 「裏庭での出来事」 |
| テーマ3 | 命あるものとの向き合い方について考える | 「サルも人も愛した写真家」 |
| テーマ4 | 自分をコントロールするには | 「釣りざおの思い出」 |

① 4つの授業中の気持ちに当てはまるものに○をしてください。

	質 問	とても ある	ある	あまり ない	ない
1	道徳の授業の話し合いで、友達の意見が聞きたくなる。				
2	道徳の授業の話し合いで、自分の意見を話したくなる。				
3	友達の意見を聞いて、自分にはない考えに気付くことがある。				
4	友達の意見を聞いて、なるほどと思ったりすることがある。				
5	友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったことがある。				
6	主人公の気持ちや行動について、「もし自分だったら」と考える。				
7	今までの自分がどうだったかを思い出し、自分について考える。				
8	これからどのように生活していけばよいのかを考える。				

② 4つの授業について教えてください。

授業で気づいたこと、心に残ったこと、前の自分と比べて、道徳のイメージなど自由に書いてください。

みなさんのご意見を参考にします。ご協力ありがとうございました。